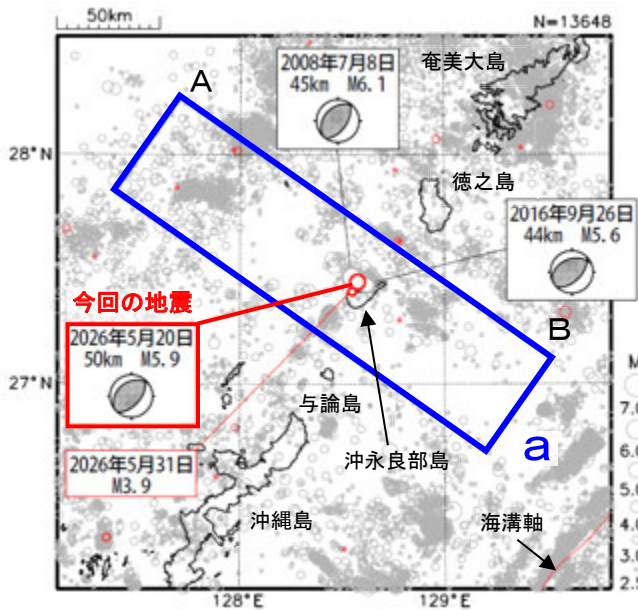


5月20日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

震央分布図

(1994年10月1日～2026年5月31日
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)
2026年5月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

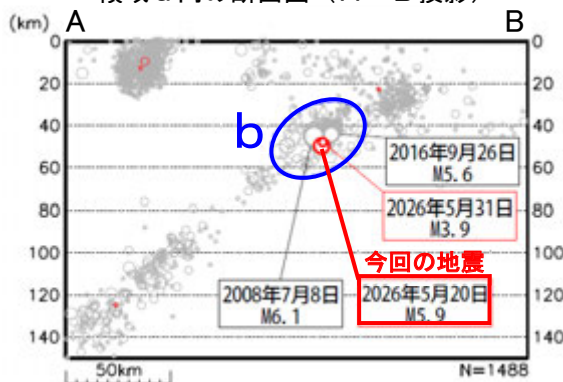


2026年5月20日11時46分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ50kmで $M 5.9$ の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、負傷者1人、体育館の天井ウレタンボードの崩落、石垣の一部崩落などの被害が生じた（人的被害は5月28日17時00分現在、総務省消防庁による、その他は5月21日現在、鹿児島県による）。また、ほぼ同じ場所で31日10時58分に $M 3.9$ の地震（深さ48km、最大震度3）が発生した。

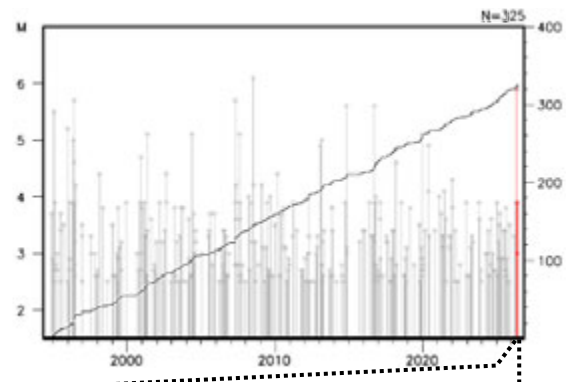
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。2016年9月26日に $M 5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では $M 6$ 程度の地震が時々発生しており、2008年7月8日の地震（ $M 6.1$ 、最大震度5弱）では、鹿児島県与論町のホテルで壁の落下、石膏ボードの破損など一部破損が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）

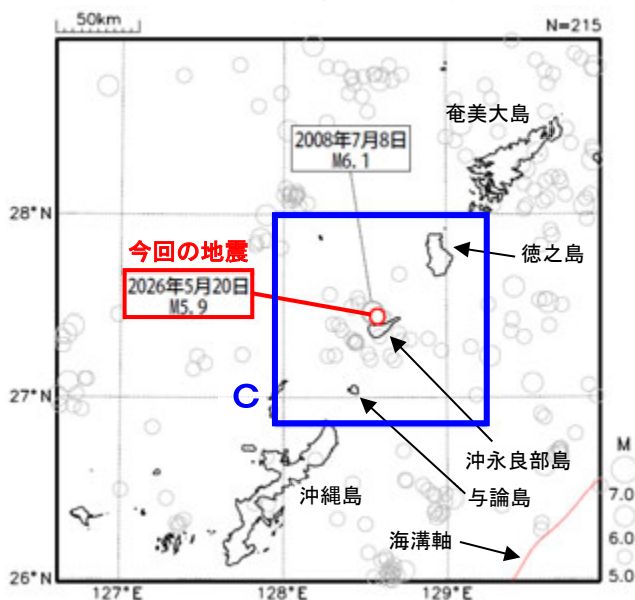


領域b内のM－T図及び回数積算図

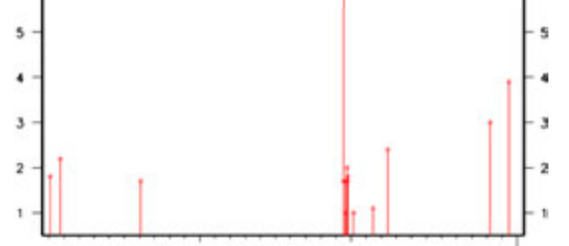


震央分布図

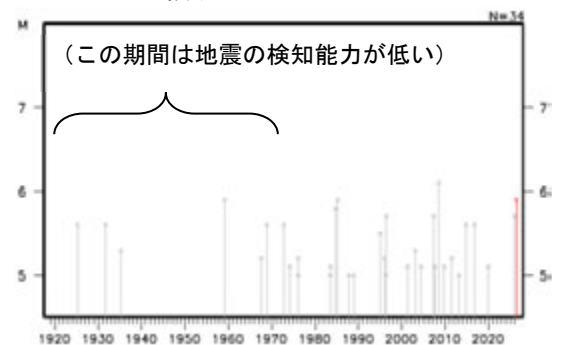
(1919年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)
2026年5月の地震を赤色○で表示



(2026年5月1日～31日、 $M \geq 1.0$
M－T図のみ)



領域c内のM－T図



気象庁作成